

# USA SUMMER CAMP

## アメリカ人学生 ホストファミリー募集

### 受入家庭へのアドバイス



#### 今年の夏休みは、家族みんなで国際交流！

ガイヒーリージャパンでは、USA SUMMER CAMPで6月下旬～8月下旬に来日するアメリカ人学生達のホストファミリーを募集しています。学生達は、キャンプセッションがオフ(休み)の期間中を利用し、日本人家庭でホームステイを体験し、日本の文化や生活に触れ合うことを目的としています。既にお受入にご協力頂いた方々、そして、これから受入をしてみたいけれど、どうしたらいいの？という方々まで、今までに頂いた多くの質問や過去にお受入頂いた方々からのアドバイスを以下にまとめました。是非、受入前の参考になさってみてはいかがでしょうか？



#### Q1：来日する学生はどんな人たち？

A：弊社が主催するUSA SUMMER CAMPで、アメリカの文化を伝えたい！日本の子供達と触れ合いたい！と思っているアメリカ人学生達（高校生～大学生）です。  
アメリカ人といえば金髪碧眼で鼻が高い背高の白人をイメージしていませんか？それは間違いです。アメリカは「人種のるつぼ」と言われ、色々な人種が混ざり合っている国です。そして、来日する学生も様々なバックグラウンドを持った人たちです。ヨーロッパ系、(白人)、アフリカ系(黒人)、アジア系、ヒスパニック系など色々な人種の学生が来日します。

#### Q2：家が狭いので受入が難しいのでは？

A：このホームステイの目的は、日本人の生活や文化を学ぶことです。アメリカと比べて日本の家が狭いのは十分承知していますので心配する必要はありません。  
今までにも、マンションやアパートにお住まいの方でもお受入頂いた方はたくさんいらっしゃいます。重要なのは、お家の大きさや部屋の大きさではなく、国際交流をしてみたいという心です。

#### Q3：ホストファミリーになりたいけれど、英語が話せません。それでもいいのでしょうか？

A：このプログラムで来日する学生達は、日本、日本語、日本文化に非常に興味のある人たちです。そして、日本人の子供達に英語やアメリカの文化を伝えたい！と思っている人たちです。殆どの学生が初来日で、日本語を話せない学生も多いですが、コミュニケーションは話すだけが全てではありません。お互いに、ジェスチャー(身振り手振り)、筆談、辞書を使って意思疎通を図ることができます。日本人が海外にホームステイに行く時、現地のファミリーに日本語を話せる人がいるわけではないというシチュエーションと同じだとお考え下さい。しかし、中には日本語勉強歴のある学生も数名いますので、事前にリクエストを頂ければ配慮することも出来ます。

#### Q4：受入期間中どのように過ごしたらいいのでしょうか？

学生と相談をして決めてみてはいかがでしょうか？学生達はキャンプの期間中、公共施設(郊外の自然の家)で過ごしますので、日本人家庭で家族と一緒に過ごすこと自体がとても新鮮で物珍しいのです。(到着日は、キャンプが終わって直ぐホームステイが始まる為、少々疲れ気味かもしれません。)

料理、近所を一緒に散歩(お寺・神社・公園・学校・スーパーなど)、テレビ・映画鑑賞、テレビゲームなどを一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか？

学生達をお客様ではなく「家族の一員」として受入れてあげて下さい。「特別扱いたくない」「気を遣いすぎない」ことが重要です。もし、学生がひとりで出かけることがあれば、必ず門限を決め、ご家族の連絡先(家族の名前・電話番号・住所・最寄の駅やバス停名)を書いた紙を渡して下さい。

#### Q5：学生さんを色々と観光案内する必要がありますか？

無理をして連れて行く必要はありません。もし連れて行きたい場合は、行き先と学生が負担する費用について説明を事前にしてあげて下さい。

#### Q6：家族のルールに従ってもらうことは可能？

学生が到着したら、ご家庭でのルールを教えてあげて下さい。(受入前に事前に弊社へお知らせいただいても構いません)起床・就寝・入浴・食事・手洗い・ごみの処理(アメリカは日本と違い、細かくごみの分別をする習慣がありません)・挨拶・礼儀などについて話し合っておきましょう。受入の前に家族でルールを作っておくと説明しやすいと思います。

#### Q7：食事は何を用意すればいいのでしょうか？

普段どおりで構いません。(3食の提供をお願い致します)アレルギーやベジタリアン、宗教上の理由で食べられないものがある学生は、食事制限にご対応いただけるご家庭に組み合わせを致します。事前に学生の好きな食べ物や嫌いな食べ物についてもプロフィールを通じてご連絡を致します。しかし、多くの学生が初来日の為「嫌いな食べ物がない」と表記している学生でも、初めて食べる日本食で口に合わないものもあるかもしれません。そのような際は、学生が自分の好みを伝えてくることがあると思います。

特に、弊社のプログラムではウィスコンシン州やミネソタ州出身の学生が多く、土地柄もあり普段魚を口にすることがありません。学生によっては生魚や魚を食べることが出

来ない人もいます。

一緒にお料理を楽しむことも、学生が好き嫌いを上手く伝えることが出来る一つの手段にもなります。

#### Q8：入浴・トイレ・洗濯は普段どおりでいいのですか？

まず、学生が到着したらお風呂やトイレの使い方を教えてあげてください。（特に日本のトイレはアメリカに比べると近代的で、「ボタンがたくさんあって使い方が分からない！」と言う学生もいます）普段当たり前だと思っていることでも、学生達にとっては必ずしもそうではありません。

#### Q9：洗濯物は家族の物と一緒に？それとも分けて？

それぞれのご家庭にお任せします。一緒に洗ってもいいのか、それとも別がいいのかを尋ねて頂いても構いません。（受入の期間が短い場合は、洗濯が必要ない学生もいるかもしれません）学生達はキャンプで使用するTシャツを2枚（白と紺を一枚ずつ）持っていますので、Tシャツの洗濯をお願いする学生もいるかもしれません。

#### Q10：部屋は個室が必要ですか？

部屋が個室か共用かを（お子さんと同じ部屋でも構いません）お申込の際、事前にお知らせ下さい。布団もしくはベッドでもどちらでも構いません。

#### Q11：電話・インターネットを利用したい場合は？

滞在期間中、学生が電話やインターネットを使いたいとお願いすることがあるかもしれません。国際電話をする場合、学生達はプリペイド式のコーリングカードを持っていますので、ホストファミリーに負担がかかることはありません。もし、持っていない場合はコンビニで国際電話用のプリペイドカードを買うことをお勧め下さい。（もし学生が帰国後、ご負担があれば弊社にお申し出下さい。ご返金させていただきます）

インターネットを使用させる場合は、使用する時間を決めてあげてください（例えば1時間など）。

#### Q12：集合・解散場所まで送迎できないのですが・・・？

送迎の時間や場所についてのご案内をお送りしますが、その場所までご家族の送迎が難しい場合は事前にご相談下さい。また、送迎の際の学生の交通費（公共交通機関利用の場合）は弊社が負担いたしますので、学生本人に必ず支払わせて下さい。

#### Q13：滞在中に病気や怪我をしたら？

学生達は、海外旅行傷害保険に加入して来日します。ホームステイ期間中に病院にかかる場合は、費用は本人が実費を負担をするか、弊社が責任を持って費用とその対応を致します。もし、病院に行かなければならないような事が起こった場合は、まず弊社のホームステイ担当者にご一報下さい。

#### Q14：お別れする時にはお土産をあげるべき？

「高価なお土産をもらって、逆にビックリした！」という学生が過去に何人もいます。お受入頂き、食事を頂き、一緒に時間を過ごすことが出来ただけでも大変な難しいことです。あげるとすれば、ホームステイの思い出になるもの（写真や手紙）がいいでしょう。

#### Q15：質問や問題があった場合の相談先は？

質問や問題は弊社のホームステイ担当者にご連絡下さ

い（お住まいの地区により担当者が異なりますので、ご連絡の際は必ずお住まいの地区をお伝え下さい）。また、弊社では夜間・休日の緊急連絡先もお受入の際にお伝えし、万全のサポート体制を敷いています。

#### ■その他（英語教室で教えていらっしゃる方へ）

ご家庭で英語教室を実施していらっしゃる方でホストファミリーとしてお受入頂いている方が最近多くなりました。しかし滞在期間中、彼らに「教室の生徒さんたちに英語を教える指導者」としての役割を過度に期待し、それがかえって学生達の負担となり、ホームステイの本来の目的と異なってきている所があるようです。キャンプの期間中、彼らは指導者として活動後、ホームステイに入ります。ホームステイでは指導者としてではなく、学生として受入家庭との交流を楽しみにしていますので、受入期間中は学生と一緒にリラックスした環境をご提供頂ければ幸いです。

#### ■ホストファミリー体験者の声

毎年全国（関東・中部・関西・九州地区）で、約200家庭のファミリーが弊社のホームステイプログラムにご協力を頂いております。多くの皆様には、「大変貴重な経験だった」とご好評を頂いております。

★ 夏になったらホームステイの時期が来たなあと思います。我が家では、無理せずみんなでお昼寝ができるような、そんな自然体で受入をしています。毎年、どんな子達がくるのか楽しみです！

★ もう少し英語がしゃべれたら・・・と反省気味ですが、今年も思い出に残る夏を過ごすことができました！

★ 相手を通してアメリカのことを知ったり、日本を色々紹介したり、勉強になりました。子供達は英語が話せませんが、いいコミュニケーションが取れて、いい思い出ができたようです。ありがとうございました！

★ 今年も素晴らしい子が来てくれ、語学ができないのですが、単語などでコミュニケーションが取れ、日本の良い所を一つでも多く知って帰ってほしいという思いで接し、一生懸命だったので伝わったのではないかと思います。また来年も宜しく願います！

#### ■学生達からの感想

★ 日本の文化を知ることができ貴重な時間になりました。ホストファミリーが浴衣を着せてくれ、夏祭りに連れて行ってくれました。本当に楽しかったです。

★ 日本とアメリカの文化の違いを学んだり、ホストファミリーが日本の伝統文化についても教えてくれました。リラックスした環境で過ごすことが出来ました。

★ ホストファミリーが自分の家族のように接してくれ、とても嬉しかったです。みんなで、映画を観たり、買い物に行ったりと、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

★ 全く英語を話すことが出来なかったファミリーでしたが、色々なことを伝えようと一生懸命な気持ちがとても有難かったです。皆が受入を歓迎してくれて嬉しかったです！

★ おばあちゃんが習字を教えてくれた！ この経験は一生忘れることが無いと思います。ありがとう。